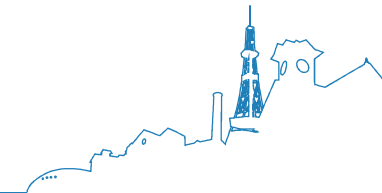


札幌市における 国際会議等誘致の取組と現況



I 国際会議等開催の現況



■ 国際会議の開催件数

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
JNTO基準	73件	61件	89件	101件	107件	114件
ICCA基準	7件	16件	13件	19件	18件	17件

※) JNTO (日本政府観光局) 基準による国際会議開催件数

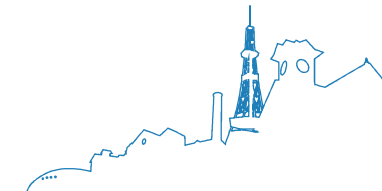
①国際機関・国際団体 (各国支部を含む) 又は国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため民間企業以外は全て) が主催、②参加者総数が50名以上、③日本を含む3か国以上が参加、④開催期間が1日以上のもの。

※) ICCA (国際会議協会) 基準による国際会議開催件数

①国際機関・国際団体 (各国支部を含む) 又は国家機関・国内団体 (各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て) が主催、②参加者総数が50名以上、③定期的に開催され (1回だけ開催されたものは除外される)、④3か国以上での会議持ち回りがあるもの。

- 東日本大震災の影響を受け、2011年、2012年では落ち込んだものの、その後は順調に回復
- 北海道大学、札幌医科大学を始めとする市内の大学研究機関に、学術系の国際会議を開催するにあたってのキーパーソンとなる人材が集積
- 分野別では、科学・技術・自然系、医学系の割合が高い

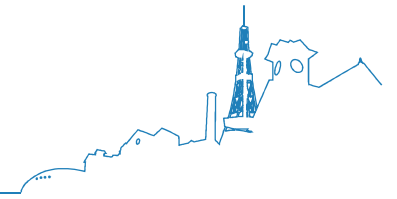
I 国際会議等開催の現況



■ 政府系国際会議の主な開催実績

開催年月	会議名	参加者数 (うち海外参加者数)
2010年6月	2010年日本APEC貿易担当大臣会合及び関連会合	2,500人 (2,200人)
2012年6月	第27回アジア消防庁協会総会	528人 (71人)
2012年7月	太平洋まぐろ類国際科学委員会 (ISC)第12回総会	50人 (40人)
2012年10月	第13回北東アジア港湾局長会議・北東アジア港湾シンポジウム	250人 (70人)
2013年7月	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)統合監視措置 (IMM)作業部会及び条約改正作業部会	100人 (60人)
2013年7月	国際電気通信連合 無線通信部門 SG5 WP5D第16回会合	185人 (155人)
2013年11月	第13回日中韓特許庁長官会合	225人 (25人)
2013年11月	第4回日インドネシア交通次官級会合	70人 (40人)
2014年2月	国際電気通信連合電気通信標準化部門 第16研究委員会 (ITU-T・SG16会合)	232人 (146人)
2015年9月	第7回日・ASEAN諸国防衛担当局次官級会合	50人 (47人)

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 札幌MICE総合戦略（2015～19）

札幌市のMICE推進のアクションプランとして2015年4月に策定

【ビジョン】 札幌の魅力あふれる“ONLY ONE” MICE都市

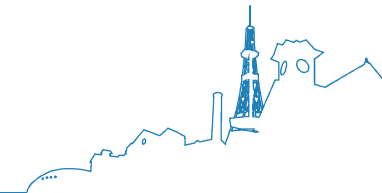
○ 積極的誘致戦略【重点誘致ターゲット】

- ① 国内及びアジアをターゲットとした**学術系の大中規模会議**
- ② 主に東アジア・東南アジアからの**インセンティブツアー**
- ③ **国内外に向けたPR効果の高い政府系国際会議**
- ④ 札幌の特色を生かした**スポーツ関連の会議、大会、イベント**

○ 基盤の強化戦略【受入基盤強化】

- ① 誘致・開催支援**体制の強化**
- ② **MICE施設整備**とゾーン形成の検討

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 誘致・セールス活動

見本市・商談会における誘致

- 国土交通省北海道局、北海道と連携した誘致活動及び情報収集（政府系国際会議）
- 国内外のMICE専門見本市・商談会でのセールス（国際会議、学会）
- 国際会議主催者等のキーパーソン招請（国際会議、学会）

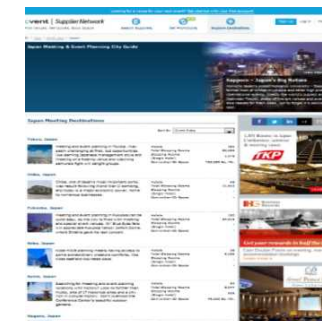


海外メディアへの広告掲載

- 海外のMICE専門誌やWeb版の広報媒体を活用し、札幌の会議施設、ホテル、ユニークベニュー等、札幌の魅力をPR



海外の国際会議主催者等を対象としたMICE専門誌「Head Quarters」

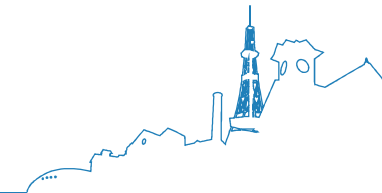


世界各都市の情報を掲載したデータベース「Cvent」

グローバルMICE強化都市

- 2015年に観光庁により「**グローバルMICE強化都市**」に選定されたことから、現在、国とも連携しながらMICE誘致力を強化

Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 開催支援・おもてなし

開催支援プログラム

- 外国語ボランティア
(インフォメーションデスクの設置、エクスカーション等でのガイド)
- 日本文化体験ボランティア
(茶道、着物着付、書道等の体験プログラム)
- コンベンション誘致促進助成金
- コンベンションシャトルバス助成金



ユニークベニュー

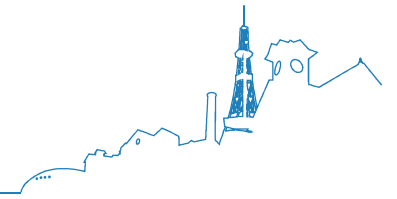
- 札幌の多彩な観光資源を活用したユニークベニューの提供

《過去の活用事例》

大倉山ジャンプ競技場、モエレ沼のガラスのピラミッド
JRA札幌競馬場 など



I 国際会議等開催の受入環境



■ ユニークベニュー

◆ JRA札幌競馬場

～ さっぽろMICEリーダーズサミット
Welcome Reception



札幌ならではのレセプション会場として、ユニークベニューのニーズが高まりを見せるなか、2013年にリニューアルオープンしたJRA札幌競馬場は、全国でも類のないMICEベニューとしての活用への取り組みを始めています。

◆ モエレ沼 ガラスのピラミッド

～ 日インドネシア交通次官級会合
ビジネスネットワーキング



環境に配慮した行動がますます求められる中、札幌市では、会議運営にあたり、地元ならではの環境にやさしい運営をご提案・協力させていただきます。2007年国際軍縮会議や2013年日尼交通次官級会合など、北海道洞爺湖サミット以降、札幌では、環境配慮型国際会議の運営の取り組みを継続して実践しています。



◆ 大倉山ジャンプ競技場

～ 国連軍縮会議
フェアウェルパーティー

大倉山ジャンプ競技場は、1972年冬季オリンピック以降、毎年ワールドカップ大会や宮様スキー大会等が開催されています。協議場頂上からの眺望はじめ、ウィンタースポーツミュージアムなどが観光客にも人気のスポットですが、会議向けに、競技場を貸し切って、会議名を冠したスキージャンプ大会を企画することも可能です。



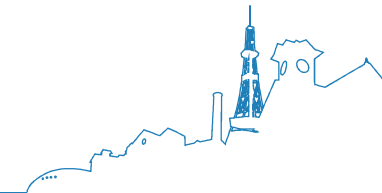
◆ ニトリ小樽藝術村

～ 欧米プランナーフェアウェルパーティー



隣町小樽に誕生した「小樽芸術村」は、19世紀末の歴史的建造物からなり、アールヌーヴォーグラスやステンドグラスを楽しめるほか、旧三井銀行小樽支店では、約10mの天井高と吹き抜け空間、漆喰アートの格式高い空間で、古き時代に想いを馳せる印象的なパーティーが可能です。

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 交通アクセス

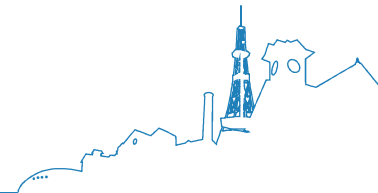
【新千歳空港の主な国内路線・国際路線】

平成29年11月現在

国内線		国際線	
成田空港	1日18便	ソウル	毎日（週47便）
羽田空港	1日55便	釜山	毎日（週12便）
中部国際空港	1日18便	北京	毎日（週7便）
関西国際空港	1日13便	上海	毎日（週18便）
大阪伊丹空港	1日12便	台北	毎日（週24便）
神戸空港	1日6便	高雄	毎日（週7便）
福岡国際空港	1日4便	香港	毎日（週16便）
仙台空港	1日14便	バンコク	毎日（週7便）

- 新千歳－羽田間は、年間搭乗者数で国内最多となる約900万人を誇り、首都圏から利便性の高いアクセス環境。
- 国際線の直行便も東アジアを中心に17路線が就航。
- 新千歳空港から札幌駅まではJR快速エアポートでわずか37分。

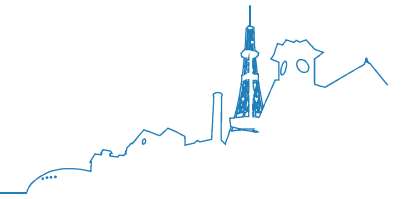
Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 主な会議開催エリア



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 札幌コンベンションセンター

- 敷地面積 41,019㎡
- 延床面積 20,310㎡
- 構造 地下1階・地上3階（RC造、一部SRC・S造）
- 供用開始 平成15年6月
- 指定管理 SORA-SCC共同事業体（株）コンベンションリンクージ、（株）東洋実業



札幌コンベンションセンター外観



← 展示場としてだけでなく
可動席により2,500名が
収容可能な大ホール



6ヶ国の同時通訳が対応
可能な特別会議室 →

Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 宿泊施設

札幌市内のホテル	
○ホテル数	133軒
○客室数	23,532室
○定員数	41,878人

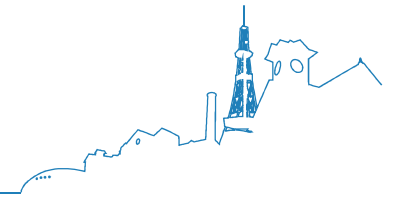
- 【札幌駅エリア】**
- ・JRタワーホテル日航札幌（350室）
 - ・京王プラザホテル札幌（507室）
 - ・札幌全日空ホテル（412室）
 - ・センチュリーロイヤルホテル（300室）など

- 【すすきの・中島公園エリア】**
- ・札幌パークホテル（216室）
 - ・プレミアホテル・TSUBAKI・札幌（322室）
 - ・アートホテルズホテル（285室）
 - ・プレミアホテル中島公園札幌（228室）など

- 【大通公園エリア】**
- ・札幌プリンスホテル（587室）
 - ・ロイトン札幌（292室）
 - ・東京ドームホテル（285室）
 - ・札幌グランドホテル（504室）など



Ⅲ 国際会議等開催の受入環境



■ 市内中心部の主要ホテル

※ 1,000人規模の対応が可能な宴会場を有する
6ホテルを抜粋。

札幌パークホテル

<http://www.park1964.com/>

天皇・皇后両陛下や、中国・江沢民国家主席、呉儀副首相など国内外からのVIP受入は市内で屈指の実績を誇ります。正面玄関前の広々とした車寄せや防弾ガラスなど、警備面からもハードが充実しています。フランス料理界最高の称号Escoffierの栄誉を受けた総料理長による極上のおもてなしをいたします。



京王プラザホテル札幌

<https://www.keioplaza-sapporo.co.jp/>

札幌市の福祉のまちづくり条例適合ホテル第1号。皇族をはじめ数多くの公賓受入実績を持ちます。パリ3つ星レストランで10年以上の経験を積んだ総料理長やレストラン技能試験1級所持者を市内最多で有するなど、ソフト面でも定評があります。



ロイトン札幌

<http://www.daiwaresort.jp/royton/>

市内屈指のコンベンション専門ホテルであるロイトン札幌は、国際コンベンションの実績を誇り、客室・宴会場とも十分な数を備え、幅広い対応が可能です。市内中心部に位置しながら外周を公道に囲まれた立地は、アクセス・警備の面でも利点を備えています。



札幌プリンスホテルタワー

<http://www.princehotels.co.jp/sapporo/>

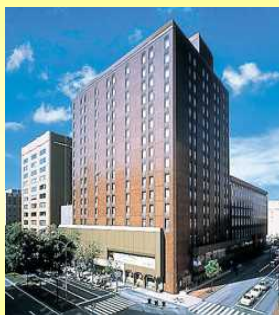
市内老舗ホテルのひとつで、開業以来、国公賓を数多く受け入れてきた実績があります。2004年にオープンしたタワーは地上107m、28階、360度の眺望を持ち、市内最大級の収容人数を誇ります。ロイヤルフロアは専用エレベータでのみアクセス可能であり、サミット会期中には2カ国の同時滞在を実現しました。



札幌グランドホテル

<http://www.grand1934.com/>

1934年の創業以来、皇族をはじめ数多くの公賓を受け入れてきた名門ホテルです。館内2箇所に設けられたエグゼクティブフロアは、2カ国の同時滞在を可能にします。サミット05会合会場としての実績も備え、ソフト・ハード両面で充実しています。



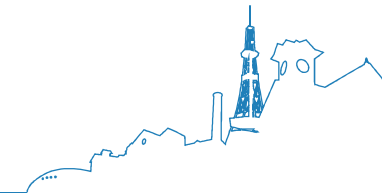
プレミアホテルTSUBAKI

<https://tsubaki.premierhotel-group.com/sapporo/>

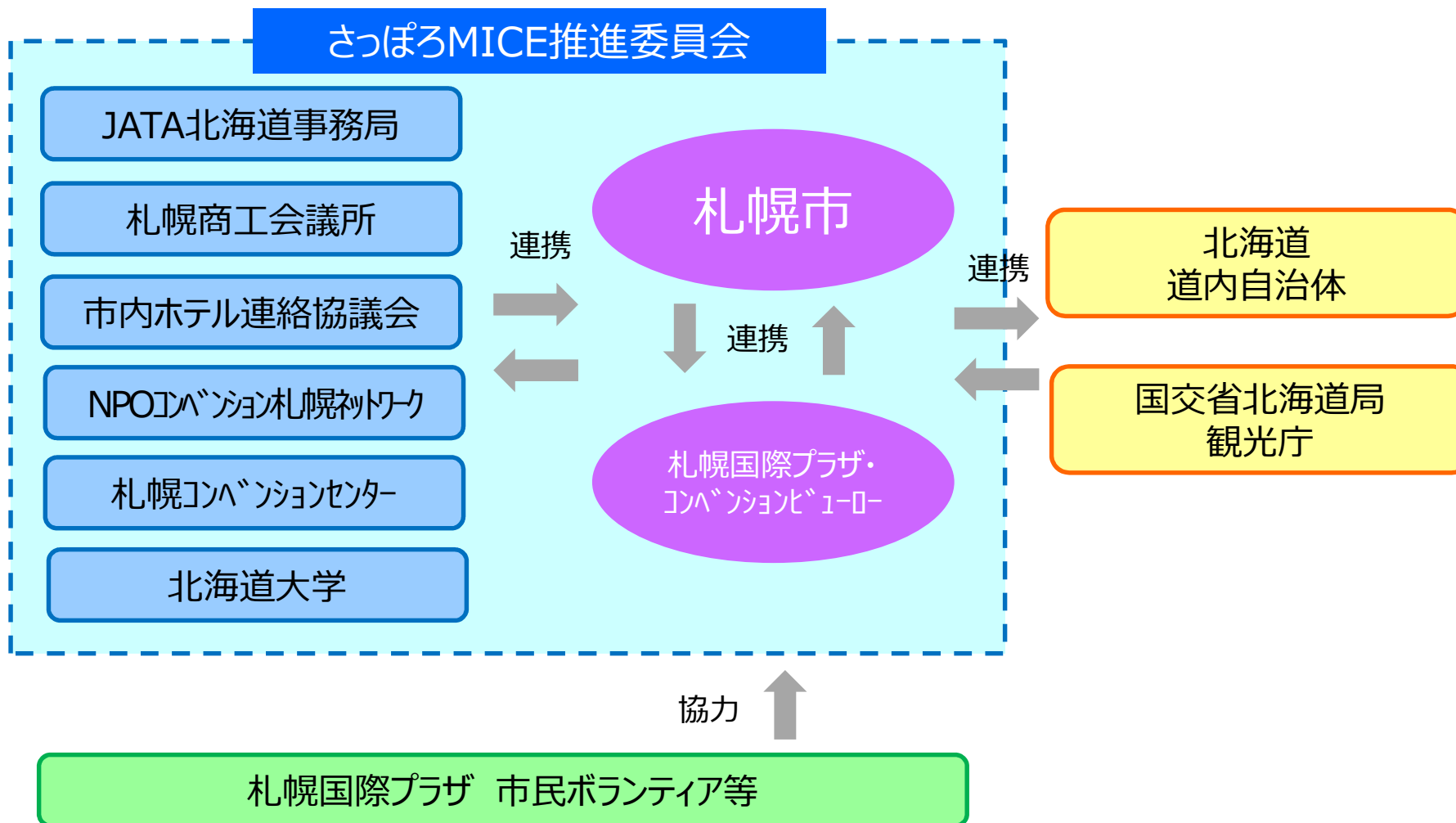
中心部のビル街の外に位置する立地は、警備の面、また空港からのアクセスも有利です。サミットに際しては、滞在した国からの多岐にわたる要望に応えた実績があるほか、首脳歓迎レセプションの会場ともなり、晩餐会場としての実績も有します。



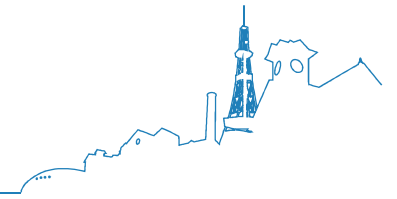
Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ 官民連携による推進体制



Ⅱ 国際会議等誘致の取組



■ お問い合わせ先

- 札幌市経済観光局観光・MICE推進部
 - ・ TEL : 011-211-2376
 - ・ e-mail : kanko@city.sapporo.jp

- 公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューロー
 - ・ TEL : 011-211-3675 (札幌)
 - 03-3216-5090 (札幌市東京事務所内)
 - ・ e-mail : convention@plaza-sapporo.or.jp